

電腦博士Mr.HIROSEの

# ITごぼれ話

第8回

## 「パソコンの大疑問(4)」

～ホームページ編～

ITプランナー 廣瀬隆夫

「パソコンは ソフトがなければ ただの箱」という使い古された川柳がありますが、裏を返せばソフトを入れかえれば、家計簿にもゲーム機にもなるという用途を限定しない使い方にお買い得感がありました。ワープロ専用機を使っていた人がパソコンに移っていったのは、そんな理由からでした。そうは言っても、何万もするソフトを買いつづけることには無理があり、限られたソフトを繰り返し使っているうちに飽きてしまって、パソコンが居間の一角で粗大ごみ化しているという光景をよく見かけました。

しかし、インターネットが普及し、それに接続したとたんに、パソコンの世界が一気に広がって楽しさも倍増したということを経験された方も多いかと思えます。今やパソコンはソフトを買って楽しむというコンピュータ本来の使い方よりも、広大なインターネットの中にある膨大な情報を自由に閲覧したり、メールで色々な人と会話をしたりするという電話のようなコミュニケーションのツールになったと言えるのではないでしょうか。今回は、インターネットを誰でも使える便利なものにしたホームページに関する疑問を中心に答えしていこうと思います。

### インターネットが普及した理由は？

インターネットが1960年代に産声をあげてしばらくの間は、一部の研究者や大学の関係者によって細々と使われていました。日本では、JUNET (Japan University NETwork) という名でごく限られた大学と企業間をつなげる実験的なネットワークから始まりました。その頃は、ボランティアが手弁当で構築して

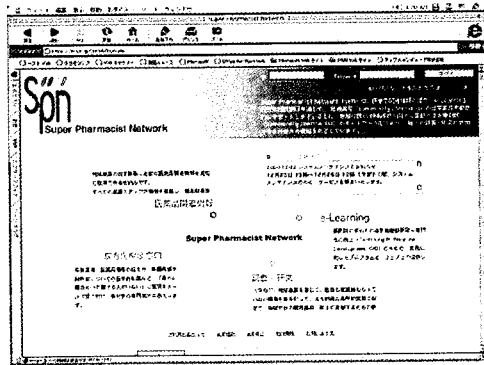
いましたので営利目的の使い方は禁止されていました。インターネットにつながっているサイトは数えるほどしかなく、ウイルスもワームもなく和気あいあいとした技術者や研究者だけの仲間内のサロンのようなものでした。アプリケーションも電子メールが中心で、どちらかというとき暗いイメージがありました。

そんなインターネットが急激に広まったのは、日本でバブルが弾けて間もない1993年に米国のNCSA (National Computer Security Association) の研究所でモザイクというソフトが誕生してからです。開発したのは、イリノイ大学でコンピュータサイエンスを専攻していた、後にジム・クラークというIT業界の重鎮とネットスケープ社を起業するマーク・アンドリーセンという学生でした。彼は、そのソフトウェアを掲示板で公開して、自由にダウンロードできるようにしました。公開して一晩で10万ものモザイクがダウンロードされ数か月で数百万にも達しました。インターネットを使えば誰でも情報を公開できること、場所や時間を超越して短い時間にたくさんの人に情報を伝えられることが証明されました。

このモザイクの噂は瞬時に世界中を駆けめぐり、あっという間に広まりました。私も筑波の展示会でモザイクを初めて見たときの驚きと興奮を今でも覚えています。モザイクは、Windows95のような大々的なプロモーションを行ったわけではないのに、口コミだけでこれだけ世界中に広まったのです。このモザイクというアプリケーションが一気にインターネットをメジャーなものに押し上げました。電子メールのように文字だけの地味な画面でなく、ホームページはカラフルな画像やアニメーションを見たり音楽を楽しんだりすることもでき人々を魅了しました。



図1 SPNのホームページ



## 🌐 ホームページって何？

ホームページは、インターネットの中にある本のようなものです。ホームページには色々な呼び方があり、Web、WWW、サイトなどはホームページを指します。WWWはWorld Wide Webの略で世界中に張り巡らされたクモの巣のようなものという意味です。ホームページに掲載されている中身はコンテンツと呼ばれています。モザイクのようにホームページを閲覧するツールは本をパラパラめくるという意味からブラウザと呼ばれています。テレビのスイッチを入れると色々な番組を見ることができますが、インターネットの世界ではホームページが番組に、ブラウザがテレビ受像機に相当します。ホームページを見るためにはURL (Uniform Resource Locators) と呼ばれる文字をブラウザのアドレス欄に入力します。ちなみに、ファーマビジョンのURLは<http://www.pharmavision.co.jp/>です。

テレビの番組とホームページの大きな違いは、その数の多さです。日本国内だけでも何十万とも何百万とも言われていますが、この瞬間にも川面に浮かぶ泡のように出来たり消えたりが繰り返されていて実数は誰もつかめていません。しかも、その内容は多種多様、会社案内や学術論文などのまじめな内容から、趣味の俳句、旅行記、病院、お寺、法律事務所、銀行、書店、オークションなど実社会にあるものはほとんどホームページにもあると言っても過言ではありません。プロが作ったものもあれば、主婦や学生、会社員、学校の先生などの手作りのサイトも数多くあります。中には、あまり見たくないようなグロテスクなホームページもあ

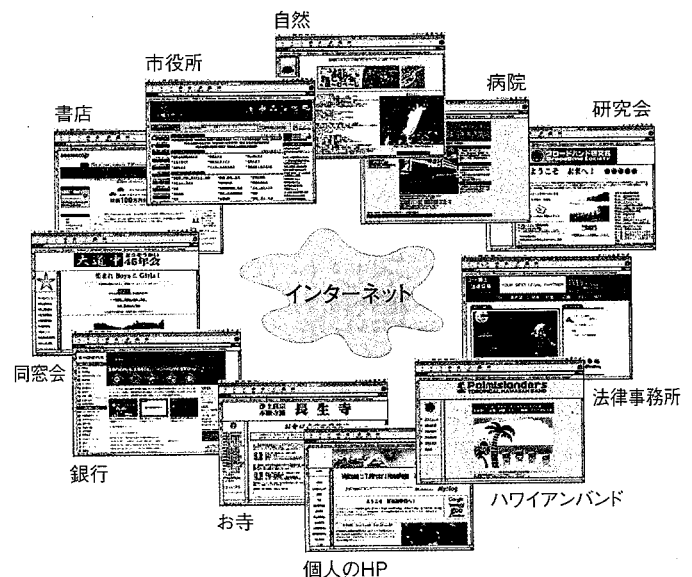
りますが、これは、価値観の押しつけをしないというインターネットの自由な精神の現れの一つと考えることも出来ます。

次に、ホームページのアクセスには必須のURLについてご説明しておきます。

<http://www.pharmavision.co.jp/> を例に取りますと最初のhttp:はブラウザとホームページの間でやり取りするときのプロトコルを表します。Hyper Text Transfer Protocolの略でハイパーテキストを送るための取り決めというような意味です。[www.pharmavision.co.jp](http://www.pharmavision.co.jp/)は日本 (jp) にある、pharmavisionという会社 (co) の名前のホームページ (www) という意味です。

このハイパーテキストという概念は、1970年代にテッド・ネルソンという人が提唱したものです。彼は、世の中の蔵書を全てデジタル化してサーバに格納すれば、欲しい情報を瞬時に手に入れられる電子図書館ができると考えました。それぞれの情報はリンクという仕組みで相互につながれて、わからない単語をクリックすれば詳しい内容が即座に表示されるというものでした。彼は、リンクしてつながったテキストをハイパーテキストと呼びました。テッド・ネルソンはこの時すでにホームページのリンクという概念を考えついていたのです。

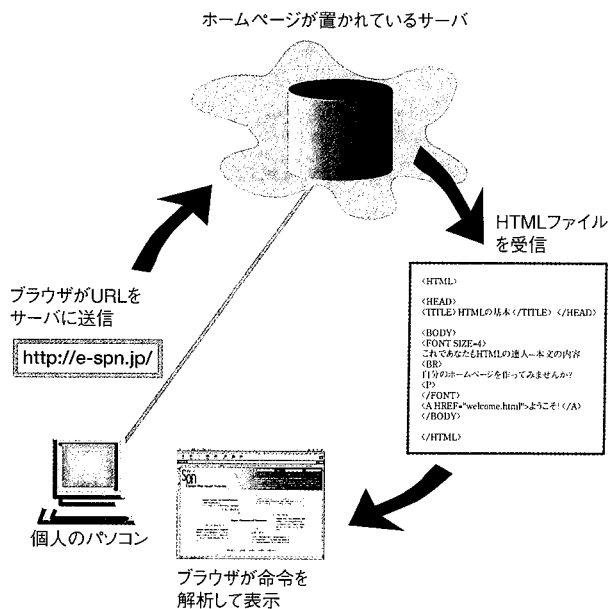
図2 様々なホームページへのリンク



## 🌐 ホームページが見える仕組みは？

ホームページの中身を見るためには、ブラウザというアプリケーションにURLを入力するということをお話しました。しかし、それだけでホームページが見られるのは不思議な感じですね。実は、ホームページが表示されるまでには、ホームページとブラウザの間で次のようなやり取りが行われているのです。

図3 ホームページ閲覧の仕組み



- 1) ブラウザに見たいホームページのURLを入力します。
- 2) ブラウザはホームページに「見てください」という要求を出します。
- 3) ホームページはその要求に従って格納されているデータをブラウザに送ります。
- 4) ブラウザは、データを受け取り解釈します。
- 5) データの記述に従い、表示を行います。

ホームページを見るときにはインターネットを通じて送られてきたデータをブラウザが読み込んで実行しているのです。ワープロソフトが、文書ファイルを読んで表示しているのと基本的には同じことです。ホームページのデータはHTML (Hyper Text Markup Language) という書式に従って作られています。

HTMLファイルにはいろんな命令が書かれています。「タイトルを表示しろ」とか「この場所に写真を貼り付けろ」とか「この文字を赤くしろ」とかいうものです。ブラウザはそのHTMLファイルに書かれた命令に従って、画面に文字や画像を表示しています。以下に典型的なHTMLファイルをご紹介します。(「--HTMLファイルの始まり」等の部分は説明書きです)

<HTML> --HTMLファイルの始まり

<HEAD> --ヘッダー情報の記述

<TITLE> HTMLの基本 </TITLE> --このページのタイトル  
</HEAD>

<BODY> --このページの本文の始まり

<FONT SIZE=4> --文字の大きさを4に設定

これであなたもHTMLの達人--実際に表示される本文の内容

<BR> --改行する

自分のホームページを作ってみませんか？

--実際に表示される本文の内容

<P> --1行空けて改行する

</FONT> --文字の大きさの有効範囲の終わり

<A HREF="welcome.html"> ようこそ！ </A>

--「ようこそ！」というページへリンクする

</BODY> --このページの本文の終わり

</HTML> --HTMLファイルの終わり

同じホームページを見ても、ブラウザによって画面表示が違うことがあるのは、その命令の解釈の仕方がブラウザによって違うからです。ブラウザと一口に言っても、沢山のブラウザが世界には存在します。現在のブラウザで一番使用者が多いブラウザは、パソコンに無償で付いてくるマイクロソフト社のInternet Explorer (通称IE) です。最近、ネットスケープ社の流れを汲むMozilla FoundationのFirefoxというブラウザの人气が高まり、IEの牙城を脅かしています。アップルは、高速をうたい文句にした独自のブラウザのSafariを持っています。



## 検索エンジンって何？

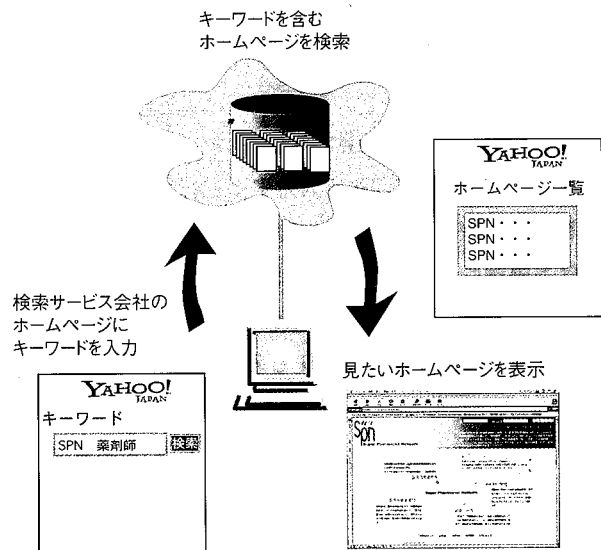
.....

あなたがホームページを作っても、インターネットの世界には膨大な数のホームページがありますので、そのままでは見に来てくれる人はいません。これではインターネットの魅力は半減です。1994年にジェリー・ヤンとデビッド・ファイロという大学院生がインターネットをもっと使いやすくしようという目的で検索サービスを興味本位で始めました。この会社がインターネットの代名詞にもなっているYahoo! (ヤフー) です。Yahoo! という奇妙な名前はスウィフトのガリバー旅行記に出てくる人間の姿をした野獣とされています。世界中のホームページのURLを集めた電話帳のようなものをつくり無料で検索サービスを始めました。調べたいキーワードを打ち込むと登録されているホームページから検索を行い、目的とするキーワードを含むホームページを調べてくれるのです。

現在、Yahoo! JAPANのホームページの月間のアクセス数は200億回以上もあると言われています。それだけ多くの人を訪れるYahoo!のホームページは商品を宣伝する格好の場です。Yahoo!などの検索サービスを提供している会社は、テレビの スポンサーが流すCMのように、そこに貼られたバナー広告から収入を得ているのです。広告だけでなく、オークションやネットショッピングなどの手数料を含めると今ではYahoo! JAPANだけでも百億円を超える売上があります。

検索サービスでビジネスをしているのは、Yahoo!だけでなく数多くあります。goo (グー) ・excite (エキサイト) ・Google (グーグル) などが代表的な検索サイトです。そこで使われている検索エンジンは大きく分けて2種類あります。人の手で登録されるタイプとロボットが自動的に登録していくタイプです。人の手による検索エンジンは検閲する担当者がウェブサイトを審査し、ユーザにとって有益であると認めたサイトのみをデータベースにカテゴリーごとに分類して登録しています。ロボット型検索エンジンは、その名の通りロボットがインターネットのウェブ上を自動的に巡回してウェブページのデータを収集し、データベースを作成しています。

図4 検索エンジン



## どうすればホームページを立ち上げられるの？

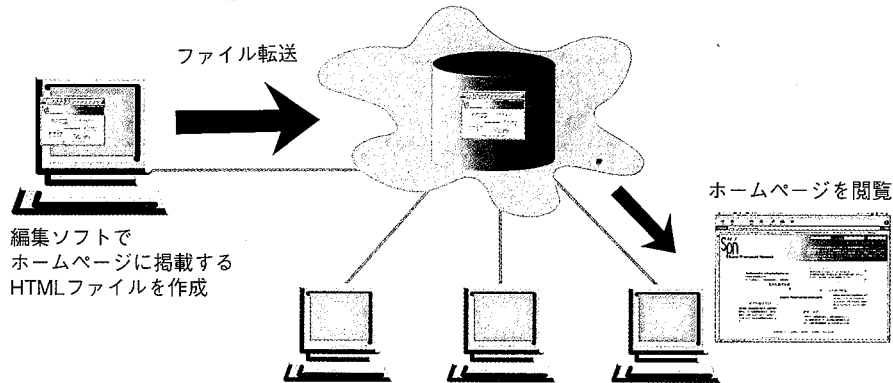
.....

ホームページを立ち上げるのは思ったより簡単です。インターネットに参加するためにはYahoo! BBやSo-netなどのインターネットサービスプロバイダ (ISP) のお世話になる必要がありますが、そのようなISPでは、会員がホームページを立ち上げられるようにサーバを用意しています。ホームページを立ち上げたい人は、申し込みを行いHTMLの書式で書かれたホームページのコンテンツを編集用ソフトなどを使って自分のパソコンで作成し、うまく表示できることが確認できたらISPのサーバにファイル転送用ソフトを使って送り込むだけです。

ホームページのコンテンツを作るためには以下の設備が必要になります。

- パソコン：インターネットにつながっているものであればそれで十分です。
- デジカメ：写真や絵などのイメージを取り込むときに必要です。
- ブラウザ：作ったホームページの確認用に必要です。ほとんどのパソコンに入っています。
- 編集用ソフト：専用ソフトがなくてもワードなどで代用できます。
- ファイル転送用ソフト：作ったホームページの内容をサーバに転送するためのソフトです。無料のものが広く出回っています。

図5 ホームページの作り方



## 巷で話題になっている ブログって何？

インターネットを見ていると日付順に日記が並んで表示され横のスペースに様々なリンクが貼ってあったりする個人が運営するきれいにデザインされたホームページを見たことがあると思います。このような日記形式のホームページはウェブログ (Weblog)、または略してブログ (Blog) と呼ばれ、個人のユーザを中心に大変な盛り上がりを見せています。このブログのブームは、まだ、記憶に新しい2001年9月11日に起きた米国の同時多発テロ事件がきっかけと言われています。米国では、この事件のあとに安否情報、テレビなどでは紹介されないローカル情報、復旧作業のボランティアへの呼びかけなど、様々な情報がブログを通じてやりとりされました。

ブログは一見すると掲示板と似たようなものに見えますが、実際に自分で始めてみると全く違うものであることが分かります。掲示板は誰でも自由に意見を書くことができます。それ故、「荒らし」と呼ばれる心ないイタズラ書きが行われ、荒廃している掲示板も少なくありません。ブログにはトラックバック (TrackBack) という機能があります。他人のブログを見てコメントを入れたい場合には、自分が運営するブログに意見を書き、そのURLを相手のブログに送ることで、自分のブログのリンクを強制的に貼ってもらうことができる機能です。自分のブログで他人のブログに書込をするという形式なので、無責任なイタズラ書きは殆どなくなります。これによって、ブログ同士の横のつながりが

増えていき、コミュニケーションの輪がどんどん広がります。

また、ブログは普通のホームページを立ち上げるのに比べて格段に簡単です。編集用ソフトもファイル転送用ソフトも入りません。ブラウザでホームページを見れる環境があれば30分もかからないでブログというジャンルの立派なホームページを立ち上げることができます。ユーザ登録をしてID、パスワードをもらえれば雛形が出来ます。後は、何種類かあるデザインを選択するだけです。そこにワープロ感覚で記事を打ち込んでいけばOKです。写真などの画像の掲載も出来ます。古くなった記事は、そのまま履歴として書庫に自動収納されますので、記事の管理や編集に手間がかかりません。Yahoo! やExcite、livedoorなどの検索サービスの会社が無料でブログサービスを提供しています。

図6 ブログの作り方

